

仕事に関する体験などを語る卒業生
= 金沢学院東高校体育館



金沢学院東高校の卒業生による職業講話は十月一日、同校体育館で行われました。卒業生が、現在の職業に就こうと思った動機や仕事のやりがいなどについて話し、「自分の好きなことを仕事につなげたい」などとアドバイスしました。

講師を務めたのは、早川玲子さん(北國観光)、宮下広明さん(石川県中古自動車販売商工組合)、江尻清人さん(輪島高校教員)、西村喜八朗さん(自衛隊石川地方連絡部)、前崎千住さん(佐川急便北陸支社)の五人。早川さんは志望動機につ

好きなことを仕事に

東高で卒業生が職業講話

最新の英語学習環境に

CALL室が完成

2号館 効率的な自習もOK



新設されたCALL学習室「2号館

金沢学院大学は九月末までに、2号館四階に最新のソフトウェアを組み込んだ英語学習環境「CALL学習室」を完成させました。老朽化した既存のLL教室の代替となる施設で、パソコンを駆使して授業を行います。図書館二階には自習用装置も置かれ、独学でも効率的な語学習得を進めることができます。

CALL学習室は240パソコン室を間仕切って設けられ、パソコン三十一台、プリンタ三台などが導入されました。図書館のデジタルミュージアムコーナーを仕切ってノートパソコン四

台を置いたCALL自習室も設けられました。従来のテーブルを用いたL

プロ意識と信念を持って

学院大 赤川氏が特別講話

金沢学院大学文学部の公開特別講話は十月五日、4号館講堂で行われ、作家で客員教授の赤川次郎氏が「優柔不断の作家道」と題して話しました。赤川氏は、創作活動の裏話も交え、「プロ意識を欠かさず信念を持って生



講話を行う赤川氏「講堂

いて「旅行が好きで人と接することが向いていると思っただ、やりがいを感じたときについて江尻さんは「生徒が3年間で成長していくこと」、前崎さんは「お客様にありがと」と感謝されたとき」と話しました。失敗した経験についての質問には、宮下さんは「査定で事故車を見抜けなかったこと」、西村さんは「射撃訓練で隣の隊員の的を撃つたこと」と明かしました。

L学習に比べ、教員、学生同士が双方方向に会話できる点などが特徴です。

「できることが大切」と強調しました。また、バブル期に成長した拝金主義的な人々が動かす現代社会に警鐘を鳴らしました。

デザイン展を見学

短大CVコース授業

金沢学院短期大学生活デザイン学科カラービジュアルデザインコースは十月一日、石川県デザイン展の会場である石川県庁十九階展望ロビーで見学授業を行いました。



学生に展示作品を解説する山岸教授
= 石川県庁 19階ロビー



バドミントンに挑戦する参加者

バドなど楽しむ

金沢学院大学基礎教育機構の土曜大学「生涯スポーツを探そう」は九月二十九日、第一体育館で行われ、参加者はバドミントン、ウォーキング、バウンドテニスなどを楽しみました。平井敦夫教授、板倉美紀カレル・マイナキの両助手が講師を務め、スポーツの楽しさを伝えました。

山岸政雄教授が同コース生らの出展作品を前に「北陸のデザインは全国的に見ても水準が高い」と解説しました。

同じく土曜大学「民間療法・健康法あれこれ」は十月六日、2号館で行われ、塚崎玲子准教授「写真左」が、近世以降の欧米や日本などで流行した日光浴、サラダ、パーモント、散歩などの各種健康法を紹介しました。便秘や不眠などに効果と広まった民間療法を説明しました。



発行・広報室